

兵庫県のり漁場環境情報 (東播海域 11号)

平成30年 1月27日発行

兵庫のり研究所

今回調査は季節風による時化が暫く続いた後の調査でした。また下げ潮時ということもあり、この海域西部の海水(水温が低い)が林崎新漁場中央部まで及んでおり、その海域では陸水等の影響を受けていた一部調査地点を除き、窒素は1 $\mu\text{g at/L}$ 前後と大きく低下しています。一方、明石海峡部周辺の海域では窒素は4 $\mu\text{g at/L}$ 前後の値を示していますので、潮時により大阪湾から流入する海水の影響が及ぶ範囲では、栄養塩はもう少し高い値を示すものと思われます。播磨灘全体的に栄養塩が減少傾向にありますのでその動向には注意が必要です。

(水温) 漁場内平均7.8℃。平年比1.6℃、昨年比2.2℃それぞれ低い。強い寒気の流入により更に降下している。

(塩分) 平均31.38psu。ほぼ前回(31.39)調査と同値。

(栄養塩、珪藻) 水温の低かった(7℃台)海域において小型珪藻のキートセロスがやや多く確認され、窒素は概ね1 $\mu\text{g at/L}$ 前後の低い値を示した。この海水は、昨日調査した西播地先(赤穂～網干漁場)や伊保・白浜漁場のサンプルと類似しており、珪藻による消費もあるが暫く続いた西寄りの風により、低栄養の海水がこの海域まで拡散した影響が大きいと考えられる。明石海峡周辺海域では珪藻はほとんど確認されず、窒素は概ね4 $\mu\text{g at/L}$ 台の値であった。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	9.8	7.8	9.4	10.0
窒素	5.6	2.3	3.0	3.5
リン	0.49	0.31	0.36	0.40

(1/17) (1/24)

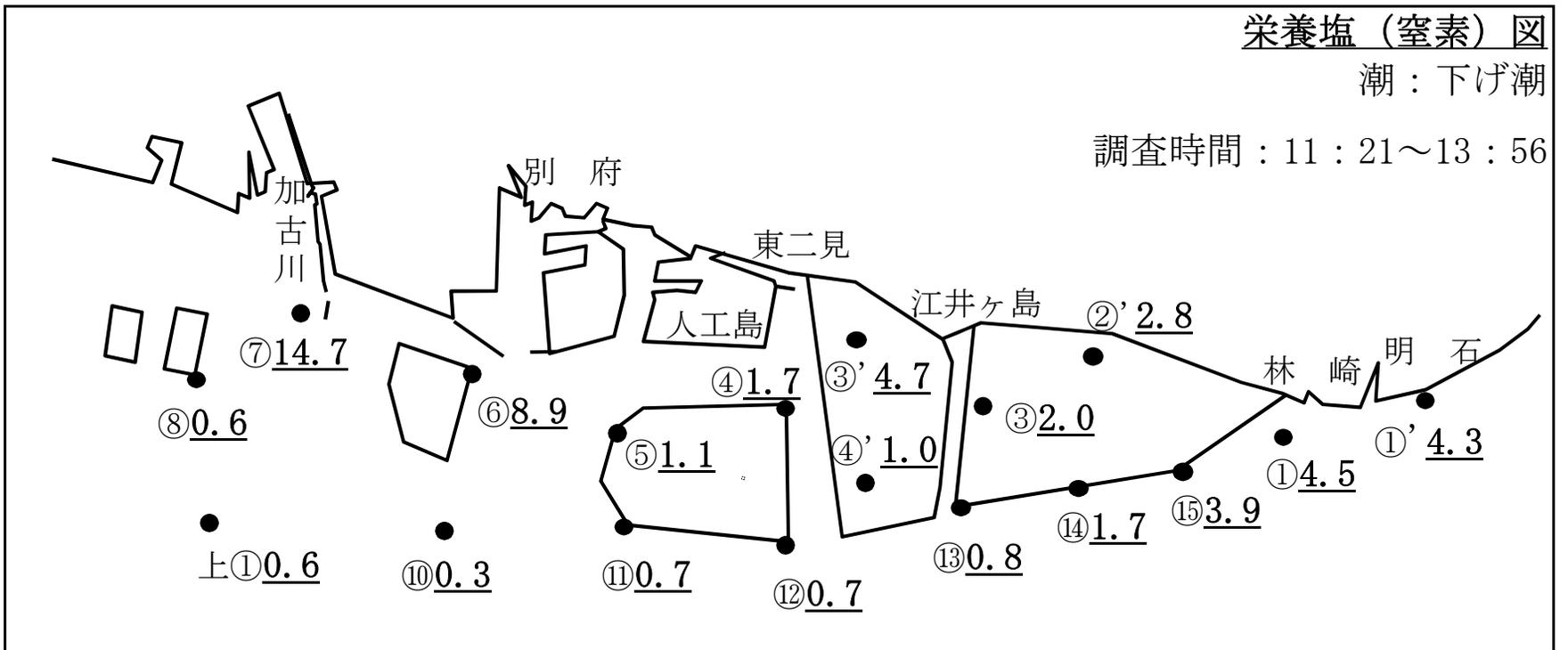
西播地先					
伊保 地	水温	7.8℃	伊保 沖	水温	7.6℃
	窒素	0.2		窒素	0.3
	リン	0.26		リン	0.26
白浜 地	水温	7.7℃	白浜 沖	水温	8.0℃
	窒素	0.2		窒素	0.5
	リン	0.25		リン	0.27

平成30年 1月27日調査

栄養塩(窒素) 図

潮：下げ潮

調査時間：11:21～13:56



水温図

